

平成23年11月30日現在

学校名	用途	建築年月	構造	階数	面積(m <sup>2</sup> )	区分	優先度調査		耐震診断		備考
							年度	ランク	年度	Is値	
坂小学校	校舎	昭和43年3月	RC	3	961	旧基準	18		20・21	0.22	平成22年度耐震化工事実施済み
		昭和43年8月	RC	3	1,653						
	校舎	昭和59年3月	RC	3	1,336	新基準					
	屋内運動場	昭和50年3月	S	2	765	旧基準	18		20・21	0.26	平成22年度耐震化工事実施済み
横浜小学校	校舎	昭和43年3月	RC	3	763	旧基準	18		20・21	0.22	平成22年度耐震化工事実施済み
		昭和43年8月	RC	3	997						
	校舎	昭和55年3月	RC	3	1,571	旧基準	18		20・21	0.57	平成22年度耐震化工事実施済み
	屋内運動場	平成8年3月	RC	2	944	新基準					
小屋浦小学校	校舎	昭和55年3月	RC	3	2,934	旧基準	18		21	0.73	
	屋内運動場	昭和58年3月	S	2	728	新基準					
坂中学校	校舎	昭和56年12月	RC	3	4,337	旧基準	18		21	0.49	平成23年度耐震化工事実施済み
	屋内運動場	昭和56年12月	S	2	1,437	旧基準			21	0.75	
	武道館	平成2年2月	R	2	710	新基準					

【用語の解説】

耐震診断

新耐震基準施行以前の建物について、地震に対する安全性を構造力学上診断するもの。

耐震化優先度調査

耐震診断をどの学校施設から実施すべきか、その優先度を検討することを主な目的とした調査である。

調査結果は、～の5段階の優先度ランクに判定され、数字が低いほど危険とみなされる。

新耐震基準

昭和56年の建築基準法(施行令)の改正後の耐震基準である。

Is値

耐震改修促進法に基づき定められた構造耐震指標で耐震性の判断基準。Is値0.3未満は地震による倒壊又は崩壊の危険性が高い。

Is値0.3以上0.6未満は地震による倒壊又は崩壊の危険性がある。Is値0.6以上は地震による倒壊又は崩壊の危険性が低い。

構造

RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造